No.1301 2026年(令和8年) 11月1日発行

広報 浦安市 うらやす

主な内容

永年の功績をたたえて 9面

浦安市の家計簿 ほか 10・11面

消費生活お役立ち掲示板 ほか 12面

発行／浦安市
所在／〒279-8501 千葉県浦安市猫実一丁目1番1号
編集／企画部広聴広報課
☎047・351・1111(代表)
https://www.city.urayasu.lg.jp

各記事に掲載しているIDを市ホームページの「広報ページID検索」に入力すると、該当のページが出ます。これにより、記事を探す手間を省けます

2026年度全国統一防火標語

火の確認 いい日を支える いい習慣

秋の全国火災予防運動

11月9日～15日は秋季全国火災予防運動期間です。消防は事業所、学校、自治会と連携し、地域全体で火災予防に取り組んでいます。皆さんもお家での火災を予防するために何ができるか考えてみましょう。火から目を離してはいませんか？

ID 1049452

市内小・中学校 第43回防火ポスター展 市長賞作品



小学生の部
鈴木（すずき） 麗海（れみ）さん（日の出南小5年）



中学生の部
渡辺（わたなべ） 葵（あおい）さん（高洲中1年）

第86回 市長さんぽ

リユース・リデュースの拠点「ビーナスプラザ」

ごみの最終処分場のない浦安市にとって、焼却残渣（ざんさ）などの処分は市外の施設に頼っており、ごみの減量化・再資源化を進めていくことは必要不可欠です。



再生家具・再生自転車などの展示室

これまで、市では、Refuse(断る)、Reduce（発生抑制）、Reuse（再使用する）、Recycle（再生利用する）の頭文字をとった「４R」をキーワードに、ごみの減量化、再資源化「ビーナス計画」を進めています。

その４Rの推進の中で、ReuseとReduceの取り組みについて考え、体験・実践する場として、入船のまちづくり活動プラザ内に「ビーナスプラザ」を設置しています。

ビーナスプラザは、平成11年に千鳥のクリーンセンター内に開設され、多くの市民の皆さんに利用されていましたが、アクセスしにくいという声が寄せられていました。

このため、今年の１月、不用となった衣服や日用品などを引き取り販売する「ビーナスショップ」や、販売する再生家具・再生自転車などの展示室、各種リサイクル教室を開催する多目的室という機能を、利便性の高いまちづくり活動プラザへ移転しました。

なお、ガラス工芸教室を開催する「ガラス工房」は、まちづくり活動プラザへの移転が難しいことから、引き続きクリーンセンター内の再資源化施設に設置しています。

「捨てる前に譲る」ことでごみの減量や資源の有効利用が図られることから、市では、ご家庭で不用になった家具、自転車の無償引き取りを行っています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

ビーナスプラザの場所が変わりアクセスしやすくなったことで、多くの市民の皆さんに利用されており、ごみの減量、資源の再利用の促進の拠点としての機能が期待されています。まだ来たことのない方は、ぜひ一度おいでください。

浦安市長 内田 悦嗣

消防職員から市民の皆さんへ

火災予防について押さえておきたい3つのポイント

リチウムイオン電池



最近の火災原因として多く挙げられるのは、「リチウムイオン電池」からの発火です。令和7年はリチウムイオン電池を原因とした火災が全国で1297件発生しています。スマートフォンやモバイルバッテリーをはじめ、身近な製品に使用されています。

長時間の充電により温度が上がり、目を離している隙に、発火や破裂したという事例もあります。リチウムイオン電池からの発火を防ぐために、製品の説明書をよく確認し、正しい方法で使用してください。また、落とした、膨らんでいる、変形している、異常に熱くなる、焦げたようなにおいがするなど、普段と違う状態が見られた場合は、使用や充電を中止してください。



消防本部予防課 佐藤

リチウムイオン電池の捨て方

問 ごみゼロ課 ☎712・6467 ID 1047265

誤ったごみの分別により、ごみ収集車やごみ処理関連施設から出火する火災が発生しています。ごみ収集車が可燃ごみを回収中、ごみに混ざって廃棄されたモバイルバッテリーがごみ収集車内で押しつぶされた際にショートし、出火した事例も多くあります。

浦安市では、リサイクル協力店（家電販売店など）での回収のほか、市でも有害ごみとして収集、またはごみゼロ課窓口（市役所6階）で回収しています。

有害ごみとして出す場合は、透明なビニール袋に種類ごとに分けて入れて、「発火性危険物」と貼り紙で明記して、有害ごみの日に出してください。その際は、金属の端子部分をビニールテープなどで必ず覆い隠すようにしてください。また、本体に表示されているリサイクルマークは隠さないようにご注意ください。



感震ブレーカー ID 1040944

地震はいつ発生するかわかりません。家具の転倒防止や備蓄などに加えて、「地震の後の火災」への備えもできていますか。

地震後に発生する火災の多くは「通電火災」が原因です。通電火災とは地震や風水害などで停電が発生したあと、電気が復旧した際に損傷した配線や電化製品から火災が発生する現象です。

この火災を防ぐには「感震ブレーカー」の設置が有効です。一定以上の揺れを感知すると自動的に電気を遮断する装置です。大きな地震が発生した際、外出中や避難しているときなど、自分でブレーカーを切ることができない状況でも電気火災を防ぐ対策になります。自宅だけでなく地域を守ることにもつながります。

感震ブレーカーには、いくつか種類があるので、ご自宅の状況に合った製品を選びましょう。また、電気が遮断されることで困る機器もあるため、設置後の生活を考えて、必要な対策をしておくことも大切です。

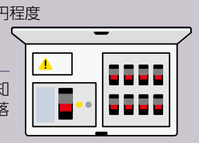


感震ブレーカーの種類と特徴

分電盤タイプ

▶内 蔵 型：5～8万円程度
▶後付け型：約2万円
▶電気工事必要

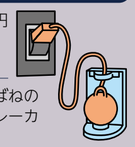
センサーが揺れを検知し、主幹ブレーカーを落とす。



簡易タイプ

▶3000 ～ 4000円程度
▶電気工事不要

おもりの落下、ばねの作動により主幹ブレーカーを落とす。



コンセントタイプ

▶5000～2万円
▶電気工事が必要なものと不要なものがある

機器に接続した電熱器具のみを対象に電気を遮断するものと、主幹ブレーカーを落とすものがある。



住宅用火災警報器 ID 1002157

調理中に火をつけたまま宅配を受け取りに行き、戻ってきたときには、コンロ周りの可燃物に火が燃え広がっていたなど、日常のふとした瞬間に火災は発生します。火災は起こさないことが一番ですが、発生してしまったときに、少しでも早く火災に気づき、適切に対応できるように、住宅用火災警報器を設置しましょう。

また、いつでも作動する状態にしておくことが大切です。火災警報器は、本体のボタンを押すか、付属のひもを引いて点検できます。正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。音が鳴らない場合は、電池切れなどの可能性がありますので、取扱説明書を確認してください。また、ほこりが付着していると正常に作動しない場合があるため、定期的に清掃することも大切です。



消防本部予防課 春藤

火を消すだけじゃない！

浦安市消防本部のお仕事

消防本部では、防火思想の普及、防火管理、自衛消防隊、危険物の規制、消防用設備などの設置・指導などに関する業務を行っています。災害対応だけでなく、事業所、学校、自治会など地域全体への防火に取り組んでいます。

自衛消防隊の指導

自衛消防隊とは建物や職場など特定の施設の中で組織され、所有者や管理者の指揮下で運用される「内部の消防チーム」です。火災が起きたときには現場に急行し、建物の中の初期消火、119番通報、避難の誘導、救護の補助などを担当します。

火災の認識を「深める」、防火管理の推進を「図る」、実効性のある自衛消防体制を「整える」の3点を掲げて活動しています。

消防士が事業所を訪問し、火災などが起きたときに落ち着いて行動ができるよう、消防訓練の指導をするなど、市内の事業所と消防が連携を取り合い、火災予防に取り組んでいます。

訓練では、水消火器を使用した初期消火訓練、119番通報の仕方の指導、安全な避難誘導方法の指導を行っています。

市内事業所の自衛活動隊を一部紹介します

審査会に出場した　うらやす財団

運動公園など市内の大きな施設を管理しているので、消防の方とも連携をとりながら、避難経路や誘導方法の確認、さまざまな状況に応じた訓練を行っています。

また、今回の審査で培った技術や知識をほかのスタッフにも伝え、全体で防災力の向上に努めています。



審査会に出場した　舞浜ユーラシア

ユーラシアでは防災センター、各部署の防火担当者を中心に消防是正、消火器具のメンテナンス、定期的な避難訓練を行っています。防災業務に関わるスタッフだけでなく、接客スタッフも日頃から火災予防の意識をもち、お客様により安全に施設を楽しんでもらえるよう心がけています。



舞浜ユーラシア

事業所初期消火活動審査会

10月9日にブリオベッカ浦安競技場で事業所初期消火活動審査会を行い、23の事業所が参加しました。

この審査会は、建物の一室で火事が発生したと想定し、現場の状況確認、消火器・屋内消火栓を活用した消火、情報伝達や指示の速さと正確さを競うものです。



教職員避難訓練



教職員が自分の役割を理解し、児童・生徒と自分の命を守れるように、訓練を実施しています。屋内消火栓を使用した放水訓練や斜行式救助袋の設置などを実際に体験してもらい、火災発生時の初期消火、通報、避難誘導について講習しました。

各学校では、講習会の内容を校内で共有し、学校全体の自衛消防力の強化に努めています。

住宅用消火器の貸し出し

消防本部では、初期消火対策として、浦安市に住民登録がある世帯主を対象に、住宅用消火器を貸し出しています。貸し出しは、消防署、各出張所で毎日行っています（午前7時～午後8時）。マイナンバーカードや運転免許証など、氏名・住所が確認できるものをお持ちのうえ、直接おいでください。

［問］消防本部総務課 ☎304・0142

ID 1023808

市民向けイベント





●イベント実施時期

3月ごろ	春の火災予防コンサート ［内容］消防音楽隊による演奏・子供防火服の着装・火災予防啓発
5月ごろ	消防広場（市民祭り） ［内容］消防車や救急車の展示、放水、地震、煙体験など
9月ごろ	救急フェア ［内容］ＡＥＤを使った救命講習、救急車の資機材展示など
10月ごろ	事業所初期消火活動審査会
11月ごろ	防火ポスター展示会、表彰式

※その他消防のイベントは広報紙や、Instagramなどで告知します

消防音楽隊



浦安市消防音楽隊は平成4年4月に発足しました。

普段は救急車や消防車で活動している、ほとんど楽器演奏の経験がない隊員が、練習を重ねて、演奏会を行っています。

音楽を通じて市民の皆さんとのつながりをより強いものとして、消防行政に対する認識を深めていただくとともに、防火思想や救急車の適正利用などについての普及、宣伝をしています。